

(3) 屋外タンク貯蔵所構造設備明細書（危省令様式4のハ）

記入例

屋外タンク貯蔵所構造設備明細書

事業の概要		石油精製業			
貯蔵する危険物の概要		引火点	45℃	貯蔵温度	常温℃
基礎、据付方法の概要		杭基礎			
タンクの構造、設備	形状	縦置円筒型 コーンルーフ		常圧・加圧 (kPa)	
	寸法	内径 32、940mm 高さ 13、830mm		容量	11.156kℓ
	材質、板厚	アニキュラ板SM400C 12mm、底板SS400 9mm、屋根板SS400 4.5mm 側板 1段目SM400C 2～8段 SS400、19、16、14、12、10、8、6mm			
	通気管	種別	数	内径又は作動圧	
		オープンベンド	2	200mm kPa	
	安全装置	種別	数	作動圧	
		なし		kPa	
液量表示装置	フロート式自動液面計	引火防止装置	有・無		
不活性気体の封入設備	なし	タンク保温材の概要	なし		
注入口の位置		防油堤外	注入口付近の接地電極	有・無	
防油堤	構造		容量	排水設備	
	鉄筋コンクリート造 80m×80m 高さ2m		12、800m³	防油堤内に集水枥を設け、防油堤外に開閉弁を設ける。	
ポンプ設備の概要		スクリープポンプ 吐出量 300kℓ/分 1基 耐圧防爆構造			
避雷設備		タンクアース			
配管		SGP			
消火設備		第4種泡消火設備 1本 第5種粉末消火設備 1本	タンクの加熱設備	なし	
工事請負者住所氏名		川越市〇〇町〇〇番地〇〇 川越工事(株) 担当 〇〇 〇〇 電話〇〇〇—〇〇〇—〇〇〇〇			

記入方法（屋外タンク貯蔵所 構造設備明細書）

欄	記入方法
事業の概要	屋外タンク貯蔵所を設置している事業所等の主たる事業の概要を記入すること。 なお、かっこ書きにより当該事業所の敷地面積を記入すること。
貯蔵する危険物の概要	屋外タンク貯蔵所に貯蔵する危険物の引火点及び最高貯蔵温度を記入すること。
基礎、据付方法の概要	タンクの地盤の改良方法、基礎型式及びタンク固定方法の概要を記入すること。なお、くい基礎、リング基礎については、昭和57年2月22日消防危第17号「くい又はリングを用いた特定屋外貯蔵タンクの基礎及び地盤に関する運用基準について」に示す構造のものをいうこと。
タンクの構造、設備 「形状」	形状及び屋根形状により次に掲げる区分等により記入すること。 a 縦置円筒型（コーンルーフ）、 b 縦置円筒型（ドームルーフ） c 縦置円筒型（フローティング）、 d 縦置円筒型（インナーフローティング） e 横置円筒型、 f 角型
タンクの構造、設備 「常圧・加圧 （kPa）」	タンクの貯蔵方法に該当するものに○を付け加圧の場合はその圧力を記入すること。なお、常圧とは、正圧または負圧で5キロパスカルを超えないものをいう。
タンクの構造、設備 「寸法」	次によること。 a 縦置円筒型タンクは、内径及び側板のトップアングルまでの高さを記入すること。 b 横置円筒型タンクは、内径、胴長（円筒部分の長さ）、鏡出及び全長を記入すること。 c 角型タンクは、縦、横及び高さを記入すること。
タンクの構造、設備 「容量」	タンクの最大許可容量を記入すること。
タンクの構造、設備 「材質、板厚」	タンクのそれぞれの部分の材質及び板厚を記入すること。ただし、材質については、JIS記号でも認められるものであること。
タンクの構造、設備 「通気管」	タンクに設置された通気管の種別、設置数及び当該通気管の内径及び作動圧を記入すること。なお、内径については必ず記入すること。
タンクの構造、設備 「安全装置」	タンクが圧力タンクの場合、その種別、設置数、内径及び作動圧を記入すること。
タンクの構造、設備 「液量表示装置」	タンクに設置した液面計の形式等を記入すること。
タンクの構造、設備 「引火防止装置」	タンクに設置されている通気管に引火防止装置がある場合は、有に○を付けること。
タンクの構造、設備 「不活性気体の封入 設備」	タンクに不活性気体を封入する設備がある場合、当該設備の概要を記入すること。
タンクの構造、設備 「タンク保温材の概 要」	タンクの外面に保温材がある場合、保温材の材質、固定方法等を記入すること。
注入口の位置	タンクにドラム缶、移動タンク貯蔵所等（船舶又は他の許可施設を除く。）から受け入れる口がある場合、当該受入口の設置場所及び設置場所が防油堤の内側か外側かを記入すること。

欄	記入方法
注入口付近の接地電極	注入口付近にローリーアース等がある場合は、有に○を付けること。
防油堤 「構造」	防油堤の構造を記入すること。
防油堤 「容量」	防油堤の容量及びかっこ書きで、当該防油堤内にある最大貯蔵タンクの番号及び当該タンクの容量を記入すること。
防油堤 「排水設備」	防油堤内の雨水等の排水系統を記入すること。
ポンプ設備の概要	タンクの受払いを行っているポンプの種類及び最大吐出量、ポンプの原動機の種類及び防爆構造等を記入すること。
避雷設備	タンクに設置してある避雷設備を記入すること。
配管	屋外タンク貯蔵所に設置されている配管又は附属配管の材質について、記入すること。なお、この場合において、JIS 記号でも認められるものであること。 また、当該配管が地下埋設配管の場合は、配管外面の保護方法についても記入すること。
消火設備	危政令別表第5の消火設備の区分のうち、当該屋外タンク貯蔵所に設置したものを記入すること。
タンクの加熱設備	タンクに設置された加熱設備の概要及び加熱媒体を記入すること。
工事請負者住所氏名	設置者等から工事を請け負った法人の名称及び住所並びに当該法人における当該工事の責任者の氏名、電話番号を記入すること。